

# 企業としての成長を目指すとともに、 社会から評価される企業でありたいと考えています。



荒川化学工業株式会社  
取締役社長

末相 友宏

## ■植物由来で環境負荷の少ないロジン

荒川化学の製品であるロジンの原料は松脂(まつやに)です。これは植物由来の原料として、まさに環境の時代にふさわしいものといえます。というのも、松脂の採取は松の木を育て、守り、引き継いでいくというリサイクル活動にほかならないからです。松は、苗木を植えて約10年間は立派な木にするための育成が不可欠で、松脂を採取できるのはその後の約25～30年間です。採取の使命を果たした木は、パルプ・建材などに利用され、次に植えられた苗木は採取ができるまで大切に育てられます。つまり、当社製品の原料は化石燃料や鉱物資源と異なり、自然の循環の中でいつまでも採取できるだけでなく、環境負荷を低く抑えることが可能なものだといえます。

そして、松脂から生まれたロジンは、さまざまな紙をはじめ、塗料、印刷インキ、ゴム、食品など、多岐にわたる最終製品の付加価値を高める原料として使われ、広く社会に貢献しています。当社では、ロジンが持つ社会的な使命の重さを自覚し、未永く製品を安定供給できる体制を構築しています。

## ■リスクの発生を未然に防止し、 コンプライアンスを確保

荒川化学では製品の安定供給とともに、企業活動の全般にわたって環境負荷の低減を図ることを重要な使命ととらえています。原料の調達から製品化、そしてユーザーへの供給に至るまでのサプライチェーンの中で、品質や環境、安全の面で統合的なマネジメントを展開しています。

2008年4月には、全社的なリスク管理を統轄する「リスク・コンプライアンス委員会」を取締役会の下部組織として設置しました。これによって、リスク管理を適正に行いリスクの発生を未然に防止し、万一リスクが顕在化した場合には、適切な対処を行う体制構築とコンプライアンスを確保しています。「守りは最大の攻撃」といわれますが、当社は企業経営において、守りをしっかり担保してきたことで130年以上の歴史を築くことができたと考えており、今後もこの姿勢は堅持していきます。

# 第2次中期5カ年経営計画 (2008～2012年度)

荒川化学は、「個性を伸ばし 技術とサービスで みんなの夢を実現する」という経営理念のもと、「ロジンに代表される地球に優しい素材を通して、社会に貢献するスペシャリティー・ケミカル・パートナー」をビジョンとして、「株主、取引先、社員および社会に貢献して企業価値を高めていく」ことを、経営の基本方針としています。

## 基本方針



### ■「凡事徹底」により、地域社会との共生を図る

また、企業市民という立場からは、各事業所とも地域社会との共生を重視し、操業時の騒音軽減に極力努めるとともに、周辺環境と調和のとれた事業所をめざしています。さらに、事業所内にあっては整理・整頓・清掃・清潔・躰といういわゆる「5S」の徹底を今一度、図っています。経済界ではさまざまな形で不祥事が相次いでおり、当社としても「凡事徹底 万事 スピード&コミュニケーション」を年度指標に掲げ、当たり前のことを実践にできる社風を培っていきたくと考えています。

グローバル展開を進める当社では、中国など海外の6カ所に生産拠点を置いています。いずれも日本国内と同等の厳しい基準で環境保全への取り組みを行っています。台湾および廈門の工場ではISO14000シリーズの認証を取得済みで、残りの拠点についても順次取得していく計画です。

### ■地球環境にやさしい製品開発を重点課題に

荒川化学は第2次中期5カ年経営計画のキャッチフレーズとして「PINE DASH1000」を掲げ、持続的な成長を目指しています。この中では本業を重視する一方、事業の革新によって新たな成長戦略を描いています。具体的な取り組みとして、地球環境にやさしい製品開発を重点課題としており、すでに、光硬化型樹脂「ビームセット」やフロン代替洗浄剤「パインアルファ」、鉛フリーはんだ「TASシリーズ」といったラインナップを展開しており、今後も製品の充実を図っていきます。

企業として収益を追求するのは当然ですが、効率一辺倒に陥るのではなく、社会に貢献しつつ儲けるということと、常に社会に配慮した経営を心がけたいと思っています。

つきましては、今後とも皆様方のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、心からお願いいたします。

## 経営目標

2012年度連結業績	売上高……850億円
	経常利益……55億円
	当期純利益……33億円

## 目指す姿&キャッチフレーズ

### PINE DASH 1000

～躍動、輝ける未来のために～

**P I N E** : 松の木、当社を代表する原料であるロジンをイメージ、本業重視を継続する  
Proactive Innovation for New Era  
(新しい時代へ、新機軸の先取り)

**D A S H** : Dynamic Action for Shining History  
(躍動、輝ける未来のために)

**1 0 0 0** : 当社創業140周年となる2016年度には、企業成長のひとつのベンチマークである売上高1,000億円を超える姿でありたい

## ステークホルダーへの貢献

- 顧客・原料メーカーと連携したサプライチェーンマネジメント体制の構築を推進します。
- 品質・環境・保安管理システムの構築を推進します。
- 当社グループに適した社会貢献を推進します。
- コーポレートガバナンス体制の更新・改革による、企業価値の維持・向上を目指します。
- 株主還元策として連結配当性向25%程度の安定配当維持に努め、将来的には30%以上を目指します。